

16番	新井亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1. 学校統廃合と小中一貫教育の現状と市の評価</p> <p><b>【質問趣旨】</b></p> <p>国は2014年度から2016年度までに、自治体に対して公共施設等総合管理計画の策定を要請し、全ての公共施設等を対象に、施設等の状況、今後の人口の見通し、財政収支の見通しを把握するとともに、更新・統廃合・長寿命化などの総合的計画的管理を盛り込むよう求めた。更に計画を実行するための財政支援を強化し、自治体の公共施設の面積で一番多くを占める学校施設がターゲットとなり統廃合が進められてきた。</p> <p>瀬戸市でも計画に従い施設の集約化で、維持管理費を抑えることを、統廃合の目的の一つとして示してきた。→</p>	<p>(1) 学校統廃合と学校規模について</p>	<p>①瀬戸市は地域にあった2中学校と5小学校を、新しくにじの丘学園として開校する学校統廃合を2020年に実施し、今後も菱野団地のエリアで計画をしているが、学校統廃合を進める理由を伺う。</p> <p>②2022年(R4)に「菱野団地における公立学校の適正規模・適正配置について」という見出しで、萩山小学校と八幡小学校と原山小学校と光陵中学校と瀬戸特別支援学校さくらんぼ学園の学校統廃合計画を発表した。説明資料の中には「少子化による学校の小規模化が進むことで、人間関係の固定化や教員数の減少により教育環境の変化や、学校行事の制約など学校運営に影響を及ぼす可能性がある」と記されていた。これまで市の説明では、小規模校のデメリットが強調されてきたが、校長はじめ教職員は、児童生徒数など学校規模に関わらず子どもたちに豊かな教育を保障すべく、努力と工夫を続けていると考えるが、教員や学校現場から小規模校が児童生徒の教育に及ぼす影響を心配する声や統廃合を望む声があったのか伺う。</p> <p>③瀬戸市には、品野台小学校と掛川小学校の2校が小規模特認校と認定されており、学区は関係なく市内在住であれば品野台小学校は1年生で入学でき、掛川小学校は1年生以外の学年からも転入できる。小規模な小学校とその他の学校では、義務教育6年間において、教育上の格差が生じているか伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

16番	新井亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>にじの丘学園開校で小中学校数が減り計画上は維持管理費の抑制になっている一方で、にじの丘学園校舎の建設費は約64億円と膨大だった。また、学校と学級数が減り、地方交付税額は今年度で急減補正の措置が終了するため2025年度以降5,600万円以上減る。統廃合がなければ2022年以降35人学級の拡大で学級数と教員配置数が現在よりも増え、交付税も増額となっていたはずであるが、それも減額されていく。</p> <p>国の誘導する政策に有利な財政支援があるが、通学する子どもたちだけでなく、瀬戸市全体の教育と教職員の働く環境の整備を一番に考えて慎重に進める必要があると考え、瀬戸市の学校統廃合の現</p>	<p>(2) 小中一貫教育について</p>	<p>④瀬戸市では小規模校の存続ではなく2中学校・5小学校あわせて7校の学校を1校にする統廃合でにじの丘学園を開校した結果、通学区域が広域になり子どもや保護者の通学にかかる負担の増加や、教室不足などの課題に直面している。市は「小規模校であるが故の影響」への対応をしたが、開校間もなく想定外の規模になり、子どもたちには新たな負担が生じていると考えるが、現状に対する市の認識を伺う。</p> <p>⑤2022年(R4)の説明資料は、特別支援学校さくらんぼ学園も含む統廃合計画となっている。当初は光陵中学校とさくらんぼ学園を統合する計画だったが、大幅に変更となり萩山校舎に単独で統合することになった。さくらんぼ学園は瀬戸市立の学校ではあるが、瀬戸市だけでなく尾張旭市と長久手市の特別支援学校の教育に責任を持つ学校であり、瀬戸市が単独で計画し進めていく事業とは切り離すべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>①2020年(R2)4月に、小中一貫校にじの丘学園が開校すると同時に小中一貫教育を導入したが、その目的を伺う。</p> <p>②小中一貫教育は、施設一体型小中一貫校にじの丘学園だけでなく、その他の小中学校でも中学校区毎で実施されており、ソフト・ハード両面で条件が違うが、開始から5年目となる瀬戸市の小中一貫教育の現状と市の評価を伺う。</p> <p>③にじの丘学園に限らず、小中一貫教育の取り組みの一つとして中学校の教員が小学校への乗り入れ授業を行っているが、取り組みの現状と市の評価を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

16番	新井亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>状を質問する。</p>		<p>④乗り入れ授業では、中学校の教員が小学校へ移動して授業を行うが、その際に、中学校教員の勤務校の授業を補うための非常勤講師が配置されるようになっている。学校現場は教員不足が解消されず常に忙しい教員が、乗り入れ授業のための準備や移動は教員の負担増になり、残された中学校の生徒の授業は非常勤講師に引き継がれ、生徒にとっても教員にとっても負担が増えているのではと考えるが実態を伺う。</p> <p>⑤教育政策に関する総合的な国立の研究機関である国立教育政策研究所は、2014年に「中1ギャップ」という用語の問題点について指摘する生徒指導リーフを発行している。リーフの中では、中1ギャップという語は「必ずしも実態を表現しているとは言い切れない」「明確な定義はない」「中1ギャップに限らず、便利な用語を安易に用いることで思考を停止し、根拠を確認しないままの議論を進めたり広めたりしてはいけない」と指摘している。</p> <p>しかし、瀬戸市では、施設一体型小中一貫校にじの丘学園の開校に向けて、小中一貫校の建設や小中一貫教育の実施で「中1ギャップ」が解消できると繰り返し説明をしてきた。市の考える「中1ギャップ」についての説明と、現状の認識を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

16番	新井亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>2. 学校体育施設の整備について</p> <p><b>【質問趣旨】</b></p> <p>学校体育館は教育施設としてのみならず、避難所としても重要な役割を果たしており、国からも内閣府と消防庁と文部科学省が連名で災害時に備えてエアコンの設置を検討するよう求める事務連絡が発出され、愛知県内でも学校体育館のエアコン設置が進み始めている。</p> <p>瀬戸市には、小中学校に加えて特別支援学校もあり、体温調節や意思疎通が難しい児童生徒も在籍しており、エアコンのない体育館の使用は危険を伴い早期に設置する必要があると考える。→</p>	<p>(1) 八幡小学校のプールと体育館について</p> <p>(2) 小学校・中学校体育館について</p>	<p>①2024年2月に作成された「菱野団地における学校再編（新小学校など）について」の案では、八幡小学校の体育館の新設とプールの解体が示されていた。地元自治会や保護者、教職員への説明で出た質問や意見の内容と、それを踏まえて計画案を変更または検討する部分を伺う。</p> <p>②新体育館には「空調設備・地域防災拠点・地域開放」と記されているが、市内には八幡小学校以外に、小学校体育館が15、中学校が7あり、にじの丘学園は小・中学校で施設が一体のため合計21の学校体育館がある。どの体育館も八幡小学校と同様に地域防災拠点であり、地域開放を行っている。今回、八幡小学校の体育館のみ、予算5億円をかけて新しく建設することにした理由を伺う。</p> <p>③現在示されている計画案は、子どもや保護者や教職員や地域住民の要望等を踏まえて引き続き検討していくとのことであるが、八幡小学校の体育館はトイレの改修工事も完了しており、新たに建替えるのではなく既存の体育館にエアコン設置等の整備を進める計画に変更すると、大幅に予算が減額でき他の小中学校の体育館の予算にもまわせると考えるが見解を伺う。</p> <p>①市内の学校体育館のエアコン設置計画はまだ具体化されていないが、子どもや保護者、教職員、学校体育館を避難所として利用する市民のエアコン設置の要望は高まっている。市はどのような認識か伺う。</p> <p>②学校体育館のエアコン設置に向けて、工事費等の試算、周辺自治体の学校体育館のエアコン設置状況調査などで、把握している状況や検討の内容について伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

16番	新井亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>市内小中学校の体育館のエアコン設置を速やかにすすめるために、2026年度(R8)に計画されている八幡小学校の新体育館の建設の見直しにより、市内小中学校の体育館のエアコン設置を進めることと、遅れている特別支援学校の体育館と水治訓練用の施設の整備を早急に前に進める必要性について質問する。</p>	<p>(3) 瀬戸特別支援学校さくらんぼ学園の体育館とプールについて</p>	<p>③令和5年7月31日付で、各都道府県の防災担当部署と教育委員会の施設整備を担当する部署にむけて事務連絡が出されており「避難所における空調設備の設置等について(依頼)」として、「改正気候変動適応法に基づいて、熱中症対策の一層の推進を進める必要がある。学校をはじめとする避難所における空調設備の設置について検討を依頼する。防災部局と教育委員会関係部局の連携で積極的に検討することが重要で、補助制度や地方財政措置の活用もできる」など記されている、内閣府と消防庁と文部科学省が連名で発出した事務連絡である。</p> <p>活用できる国の制度としては「緊急防災・減債事業債」や「学校施設設備環境改善交付金」や「国土強靱化債」があり、実質負担が25～30%で設置でき、「学校施設設備環境改善交付金」は、工事費上限が7,000万円で、2025年(R7)までは、算定割合が3分の1から2分の1に引き上げられている。</p> <p>これらの制度の活用や八幡小学校の体育館新設計画の見直しで、早急に市内小中学校体育館のエアコン整備を具体化する必要があると考えるが見解を伺う。</p> <p>①さくらんぼ学園は主に肢体不自由の児童生徒が通学しており、現在では医療的ケアの必要な児童生徒も増えてきているが、児童生徒の体育館の利用状況を伺う。</p> <p>②県内には県立の特別支援学校が分校・教室を除き30校あり、国立大学法人の特別支援学校が1校、市立の特別支援学校が、名古屋市6校、豊橋市1校、刈谷市1校、豊田市1校、瀬戸市1校あり、合計41校の特別支援学校があるが、体育館のエアコン設置状況は把握しているか伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

16番	新井亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
		<p>③愛知県の学校体育館のエアコン整備は、県立学校の中でも特別支援学校を優先に計画しており、2025年度に完了予定と聞いている。名古屋市も同様に、特別支援学校を優先で行い2023年度に完了している。瀬戸市においても、瀬戸特別支援学校さくらんぼ学園のエアコン整備は、市内の小・中学校の中でも優先的に整備すべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>④さくらんぼ学園には、肢体不自由の児童生徒が通学する特別支援学校に必要な水治訓練用の施設が設置されておらず、県内の特別支援学校とは設備の不十分さから受けられる教育に格差が生じており、体育館のエアコン設置と同様に早急に整備すべきと考えるが、見解を伺う。</p> <p>⑤さくらんぼ学園は瀬戸市立の特別支援学校ではあるが、瀬戸市と尾張旭市と長久手市の児童生徒が通学しており、建設費や備品費をはじめとする教育費は、瀬戸市のみで負担するものではないと考える。</p> <p>エアコン完備の体育館や水治訓練用の施設の整備、また2校に分かれているさくらんぼ学園の統合については、財政面も含め尾張旭市と長久手市と話し合っていく必要があるが、これまでどのような協力関係で進めてきたのか、また今後についてはどのように進めていく予定か伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。